

第47回 **ぴあフィルムフェスティバル 2025**



[特集企画] **ヌーベルバーグ**

©1961 STUDIOCANAL - Euro International Films S.p.A.

2025.9.6日→9.20日

※月曜休館



国立映画アーカイブ (京橋)
National Film Archive of Japan

第47回 **ぴあフィルムフェスティバル 2025**



[コンペティション部門] PFFアワード2025

映画史的ヌーベルバーグの代表作/私のヌーベルバーグ作品

[特集企画部門] 第30回 PFFプロデュース作品完成披露

私が憧れた女優たち ~帆芽衣子デビュー60年記念企画

世界が驚く日本の8mm映画たち

追悼・篠田正浩監督

2025.9.6日→9.20日

※月曜休館



国立映画アーカイブ (京橋)
National Film Archive of Japan

ヌーベルバーグに改めて注目する、 第47回ぴあフィルムフェスティバル始まります。

1950年代から世界中で多発的に起こった映画の新しい波＝ヌーヴェル・ヴァーグ。フランスから伝わった、我々も常に意識してきた言葉です。この言葉を日本で最初に冠された「松竹ヌーベル・バーグ」3監督、篠田正浩、大島渚、吉田喜重3氏のご逝去が、本年、企画を具体化するきっかけとなりました。3監督の60年代代表作と、追悼の意を込め篠田正浩監督の挑戦作『夜叉ヶ池』を上映します。

「ヌーベルバーグ」と題したプログラムでは、そのすべてを網羅することはとても不可能ですので、現在では“古典”となった名作を上映する「映画史的ヌーベルバーグの代表作」と、ある個人が最も刺激を受けた、その人にとってのヌーベルバーグ体験を告白していただく「私のヌーベルバーグ作品」の2つの企画を置きました。合計17作品を上映します。

また、日本には「8mmフィルムで長編映画をつくる」という独自の映画文化の勃興がありました。これは、現在のPFFのコンペティション「PFFアワード」に繋がる、日本の新しい映画誕生の大きな流れです。今年も6プログラムでご紹介します。勿論、映画はその歴史上の名画なくて語れません。デビュー60年を迎える女優・梶芽衣子さんに、憧れの女優たちの4つの名作を語っていただきます。

「ヌーベルバーグ」をキーワードに、特集企画を5つ展開する今年のPFF。

2025年の“新しい波”を伝えるコンペティション「PFFアワード」22作品と、我々のプロデュースした新作『メイメイ』と、13日間であわせて59作品の上映と多くのゲストをお迎えし、皆様のご来場を心よりお待ち申し上げております。



©1984 CINESTHESIA PRODUCTIONS INC. New York All Rights Reserved

第30回PFFプロデュース作品完成披露

「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに活動するPFFは、1984年より、PFFアワードの入選監督を対象に、新人監督育成のための長編映画制作を続けています。その映画制作には、これまで「PFFスカラシップ」という呼称を使ってきましたが、今後は「PFFプロデュース」と改称します。「PFFが企画から公開までトータルプロデュースする」映画制作として、PFFにしかできないことを考えながら、時代とともに変化していきます。そんな「PFFプロデュース」最新作『メイメイ』を、お披露目します。



©ぴあ、ホリプロ、電通、博報堂、一般社団法人PFF

『メイメイ』
2025年／100分予定
監督：蘇 鈺淳（スー・ユチュン）
実の姉妹であるふたりの台湾俳優を迎え、東京を舞台に描く、すれ違う姉妹の物語。家族とは？ 理解とは？

蘇 鈺淳監督 ●台湾藝術大学卒業後、東京藝術大学大学院映像研究科監督領域に進学。入試のために制作した短編『豚とふたりのコインランドリー』が「PFFアワード2021」で審査員特別賞を受賞。大学院修了制作の『走れない人の走り方』が、2024年4月より全国で劇場公開され評判となる。

※入選監督の年齢は応募時のものです。

A PFF Award 2025 Program
9. 6 11:30~
9.11 15:00~

『BRAND NEW LOVE』84分



監督：岩倉 龍一 (22歳)
倦怠期の若いカップルが人間関係を再発見する時間を、独自のフレーミングや空間・小道具で豊かに構築。

『僕はガタロウ』18分



監督：久保地穂乃 (24歳)
学校の廊下で少女に一目惚れした少年。虫オタクの彼女のために奮闘する彼と応援するまわりの暖かさ！

D PFF Award 2025 Program
9.10 11:30~
9.13 11:30~

『Caravan』59分



監督：庄司 皓 (23歳)
大学生活最後の旅に出た男性4人組。大切な記憶とは何か、私的に詩的な時間を描く青春ロードムービー。

『黄色いシミ』32分



監督：野村一瑛 (29歳)
闇バイトの送迎らしき赤い車。実行と逃走のワンシーンワンカットで、人の生の危うさ、崩壊を描き切る緊張感。

B PFF Award 2025 Program
9. 6 15:00~
9.16 11:30~

『郷』93分



監督：伊地知拓郎 (27歳)
白球を追いかけた青春の日々。葛藤や挫折がかつての記憶と交錯する。生きることの輝きを描いた物語

『宮沢さんは剥がさせないっ!』12分



監督：金澤誠人 (16歳)
常にマスクの宮沢さんの素顔を見るため、男子3人組による「脱マスク大作戦」の火ぶたが切られる！

E PFF Award 2025 Program
9.10 18:30~
9.12 11:30~

『傷ついた天使』96分



監督：田辺洸成 (21歳)
都会を離れ、誰もいない自分に出会う旅へ出る。僅かな金だけを持って歩き出したその先で、何を見出すのか。

『アンダー・マイ・スキン』20分



監督：細川巧晴 (21歳)
ある少年に恋する17歳の少女。一途な想いは次第に常軌を逸していき、予測不能な展開へ突き進んでいく。

C PFF Award 2025 Program
9. 7 18:00~
9.11 11:30~

『PEAK END』120分



監督：シン・チェリン (26歳)
カメラ越しに見つめたのは、君と私。衝動をフィルムに焼き付ける2人の対話は、青春の軌跡を映し出す。

『あの頃』11分



監督：戸田遥太 (18歳)
進路に悩む高校生が、泥団子を育てる同級生との出会いから、忘れていた何かを思い出していく。

F PFF Award 2025 Program
9. 9 11:30~
9.14 15:00~

『惑星イノウエ』54分



監督：鈴木大智 (22歳)
ニート生活中の男が謎の宇宙人により不思議な惑星へ送られる。大量生産された自分と出会う奇天烈な物語。

『マイルスモール ワールド』11分



監督：丸岡優月 (21歳)
歌とダンスに打ち込む小学5年生。学校から遠のき、迷いながら、支えとなる友人も現れる、葛藤の日々を描く。

〔コンペティション部門〕PFFアワード2025

795作品から選ばれた22作品がグランプリ等8賞を競います。スクリーンで是非！

最終審査員 ※五十音順／敬称略 ●門脇 麦 (俳優) ●関友彦 (プロデューサー)
●福永壮志 (映画監督) ●山内マリコ (作家) ●山中瑤子 (映画監督)



G PFF Award 2025 Program
9. 9 15:00~
9.14 11:30~

『名前をつけるのは、これから』39分



監督：直林水楠 (29歳)
かつて捨てられた父親への想いを、新作の脚本に綴る男。何度も書き、読み上げた末に到達する結末とは…。

『カクレミノ』35分



監督：澤田 晴 (22歳)
クラスでいじめを受ける転校生と、お面を被った少女の孤独な魂の共鳴。いじめが題材の映画の新たな着地点！

『CROSS-TALK』26分



監督：原田 捷 (24歳)
日々テレビ局で視聴者のクレーム電話対応をする男。無関心とその応報を、絶妙な距離感で捉えた実直な物語。

H PFF Award 2025 Program
9. 9 18:30~
9.16 14:30~

『屈折の行方』66分



監督：鴨林諄宜 (25歳)
生徒のいじめで退職した元教師の記録映画を、無自覚な教え子が撮る…！ヒリヒリするようなサスペンス。

『ロ-16号棟』11分



監督：井上優衣 (21歳)
解体の進む広大な団地で、同じ幼稚園に通った少年少女が再会する。懐かしさ溢れる劇中アイテムにも注目を。

『人生はいつだってHARDだ』34分



監督：笠原崇志 (30歳)
自堕落無職男と、彼を優しく見守る男の日々。主人公が働く、あの有名な甘栗屋から眺める渋谷の街も必見！

I PFF Award 2025 Program
9.10 15:00~
9.14 18:30~

『空回りする直美』44分



監督：中里ふく (20歳)
生活に困難を抱える兄と、それを笑い飛ばす直美がみんなを元気にする！兄妹の即興ラップが耳に残る。

『ワンダリング・メモリア』18分



監督：金内健樹 (35歳)
取り壊しを待つ団地の懐かしい記憶が、次第に現実を侵食していくホラー。誰かの気配を感じさせるカメラに懐く。

『紅の空』39分



監督：瀬川 翔 (17歳)
環境汚染で空が真っ赤に染まった東京を舞台に、若干17歳の監督が大胆かつ繊細に“社会への抗い方”を描く。

[特集企画部門]Special Focus

世界が驚く日本の8mm映画たち

8mmフィルムでつくられた自主映画をデジタル化する活動が海外にも広がっています。

PFFアーカイブ「自由だぜ! 80年代PFF入選作品」



伝説の映研 早大シネマ研究会 🌀 島田 元 / 高城千昭 ⌚ 9.6📅17:15～ 小ホール	地方からの衝撃! 北海道編 🌀 森永憲彦 / 吉雄孝紀 ⌚ 9.7📅12:00～ 小ホール
『リトル・ウィング』 1981年 / 70分 監督: 島田 元  つげ義春選集の手に旅に出た漫画家志望の主人公の心情を、鮮やかなカメラワークと、斬新な語り口で描く。	『爆 BACK』 1982年 / 45分 監督: 森永憲彦  冬の札幌を舞台に、高校をドロップアウトした暴走族の男の焦燥を鮮烈に描き、寺山修司に推奨された意欲作。
『どてらワルツ'81』 1981年 / 48分 監督: 高城千昭  開発が進む80年初頭の新宿界限を背景に、女子高校生に2人の男性が絡み、緩くて優しい関係が印象深い。	『大麻じゃなくても良いけれど』 1986年 / 86分 監督: 吉雄孝紀  苛立ちや空しさを覚えつつ青春を疾走する3人の高校生との3日間を、当時19歳とは思えない映像センスで活写。
地方からの衝撃! 仙台編 🌀 常本琢招 ⌚ 9.7📅16:00～ 小ホール	究極のエンタテインメント自主映画出現! 🌀 小松隆志 ⌚ 9.13📅12:00～ 小ホール
『吊首姦太郎の青春』 1984年 / 36分 監督: クマガイコウキ  惜しくも2023年に逝去されたクマガイ監督の入選作。字幕による会話とステルと実写で描かれた抒情豊かな青春物語。	『いそげブライアン』 1986年 / 67分 / カラー 監督: 小松隆志  プロレス、SF、ロックへの造詣を元に、2人の男性の対照的な人生を、疾走感豊かに描いた青春映画の名作。
『にっぽにーず・がー』 1985年 / 60分 監督: 常本琢招  拉致された友人を探す2人の女性の行動を、軽快な移動撮影の長回しで描き、独特な世界観を醸し出している。	『肉体労働者が空を飛ぶ時、窓ぎわのコーちゃんに恐怖の暗躍団が迫る!!』 1984年 / 85分 監督: 西尻幸嗣、内田勇治  古今東西の名作映画にインスパイアされた、自主映画では極めて貴重なエンタテインメントに徹した傑作。

私が憧れた女優たち～梶芽衣子デビュー60年記念企画

新人時代ひたすら映画を観て学んだという梶さんが、いまこそ若者に観てほしいという4作品。



『若者のすべて 4Kレストア完全版』 1960年 / イタリア・フランス / 179分 🌀 梶 芽衣子 監督: ルキノ・ヴィスコンティ  貧しいイタリア南部からミラノに移住した母と息子たちに出会うアニー・ジラルド。ヴィスコンティ初期の代表的傑作。	『カサブランカ』 1942年 / アメリカ / 103分 🌀 梶 芽衣子 監督: マイケル・カーティス  第二次世界大戦下の仏領モロッコで再会した男女のラブロマンス。1パーグマンの美貌と繊細な演技が光る不朽の名作。
『しとやかな獣』 1962年 / 96分 / カラー / フィルム上映 監督: 川島雄三  団地に住む詐欺一家と若尾文子が織り成す人間模様を、饒舌な脚本、斬新なセットと演出で描くブラックコメディ。	『流れる』 1956年 / 116分 / フィルム上映 監督: 成瀬巳喜男  時代の流れの中で衰退する花柳界を置屋の女中の視点から描く、豪華女優陣の競演も輝くマスターピース。

🌀 作品上映後にゲストトークの予定あり。

ハーバード大学・自主映画アーカイブプログラム



伝説の自主映画登場! 🌀 手塚 真 ⌚ 9.11📅18:30～	『MOMENT』 1981年 / 75分 監督・脚本: 手塚 真  自主映画史上最高の異色学園劇! 時空も「第四の壁」も飛び越え、映画が自在に溢れ出し、自主映画のイメージを完全に覆す。
アーカイブ短編集 🌀 アレックス・ツァーレン ⌚ 9.13📅16:00～ 小ホール	『トワイライツ』 1994年 / 33分 監督・編集: 天野天街  滲む記憶、彷徨う身体。「少年王者館」天野天街が描く後々の夢。初監督作品にしてオーバーハウゼンのグランプリ受賞。
『天地衰弱説 第二章』 1970年 / 38分 / モノクロ 監督: グループ・ボジボジ (磯貝 浩、後藤和夫、橋本和夫、福岡杉夫、福田健一、堀越一哉) 大島渚監督作品『東京戦争戦後秘話』出演時のギャラで同じモチーフの映画を制作! グループボジボジ第3作目。	『Improvisation』 1979年 / 7分 / カラー 監督: 乙部聖子 実験映像作家・乙部聖子の再評価必至コマ撮りアニメ。線やモノが自在に変容し、幻想的な揺らぎを魅せる。
TFOサイレント短編 『man』1970年 / 4分 / カラー 監督: 岩田和雄 『Ephemeria』1970年 / 6分 / カラー 監督: MAJYOLICA 70年代名古屋の実験映画作家グループTFO。Underground Cinema Festivalの協力で上映が実現。	

追悼・篠田正浩監督



驚愕のエンディングをその特撮スタッフが語ります。

壮大な特撮で泉鏡花に挑む 🌀 岩崎憲彦 / 尾上克郎 ⌚ 9.6📅18:00～	『夜叉ヶ池 4Kデジタルリマスター版』 1979年 / 124分 監督: 篠田正浩  映画ならではの結末に向かい、歌舞伎界の至宝坂東玉三郎が初の映画出演で村の美女と竜神の二役を妖艶に演じる。
---	---

映画史的ヌーベルバーグの代表作

ヌーベルバーグはフランス語で「新しい波」を意味し、自由な発想で映画制作を行った新しい潮流のことです。



『大人は判ってくれない 4Kデジタルリマスター版』 1959年 / フランス / 99分 🌚 9.13📅18:45～ 小ホール 監督: フランソワ・トリュフォー  監督の半自伝的映画にして長編デビュー作。少年の孤独と大人社会への反発を鮮烈に描いた映画史に残る傑作。	『女は女である』 1961年 / フランス / 84分 監督・脚本: ジャン＝リュック・ゴダール 🌚 9.7📅19:00～ 小ホール  カラフルでキュートで映画全体が歌い踊る、パリが夢の街になる魔法の映画。やっぱりアンナ・カリナは素晴らしい。
『女と男のいる舗道 4Kデジタル・リマスター版』 1962年 / フランス / 84分 🌚 9.19📅13:45～ 小ホール 監督: ジャン＝リュック・ゴダール  原題の「自分の人生を生きる、12のタブローに描かれた映画」とおり、アンナ・カリナの輝きを堪能する1本。	『セリーヌとジュリーは舟でゆく』 1974年 / フランス / 193分 🌚 9.14📅13:00～ 小ホール 監督: ジャック・リヴェット  パリをワンダーランドに変えた映画マジック。セリーヌとジュリーが魔法の船で旅するのを見ているのは、猫。
『イタリア旅行』 1954年 / イタリア / 83分 🌚 9.19📅11:30～ 小ホール 監督: ロベルト・ロッセリーニ  ネオリアリスモの巨匠が倦怠期の夫婦の微妙な心理を繊細に描いた名作。世界中の監督たちに影響を与え続けている。	『乾いた湖』 1960年 / 87分 / カラー / フィルム上映 監督: 篠田正浩  寺山修司、武満徹、和田誠らが参加した意欲作。初主演の岩下志麻が安保の嵐のなか覚醒する女子大生を演じる。

私のヌーベルバーグ作品

私を最も刺激した、私にとってのヌーベルバーグ体験を告白します。

Nouvelle Vague



秦 早穂子(エッセイスト)セレクト 🌚 9.18📅19:00～  『陸軍』1944年 / 87分 / フィルム上映 監督: 木下恵介 戦時下に制作された国策映画ながら、木下ならではの普遍的人間感情を揺らくこと無く描き、あの名シーンが生まれた。	山中瑤子(映画監督)セレクト 吉田 大八(映画監督)セレクト 🌀 山中瑤子 / 吉田大八 ⌚ 9.13📅15:00～  『人魚伝説』1984年 / 109分 / カラー / フィルム上映 監督: 池田敏春 原発誘致を巡る陰謀で夫を殺された女がすさまじい執念で復讐する。ヒロインが真っ青な海を泳ぐラストが美しい。
仲野太賀(俳優)セレクト 🌚 9.6📅12:00～ 小ホール  『リアリズムの宿』2003年 / 83分 / フィルム上映 監督: 山下敦弘 親しくもない木下と坪井。成り行きで始まった男たちの奇妙な旅が不思議に沁みってくる。つげ義春漫画の映画化。	『爆裂都市 BURST CITY』 1982年 / 116分 / カラー / フィルム上映 監督: 石井聰互(岳龍)  狂気と混沌が渦巻く近未来都市で繰り広げられる壮絶なバトルと過激なライブ。全画面に疾走感満載の迫力は見応え!
山下敦弘(映画監督)セレクト 🌀 山下敦弘 ⌚ 9.6📅14:30～ 小ホール  『真夜中の虹』1988年 / フィンランド / 73分 監督・脚本・製作: アキ・カウリスマキ 北の鉱山の閉鎖で南へと向かう男を不運が襲う。ミニマルで豊か、哀しいのにおかしい、カウリスマキワールド満開!	大島依提亜(グラフィックデザイナー)セレクト 🌀 大島依提亜 ⌚ 9.14📅17:30～ 小ホール  『ラストブラックマン・イン・サンフランシスコ』2019年 / アメリカ / 120分 監督・脚本・原案: ジョー・タルボット 黒人映画の新たな幕開けを知らしめる驚異のデビュー作。タイトルの意味するものが、静かに胸を浸していく。
『復讐するは我にあり』 1979年 / 140分 / フィルム上映 監督: 今村昌平  激動の文化大革命の下、華麗な京劇の舞台に生きる男たちの愛憎と宿命が絡み合う壮絶な人生を描く叙事詩的大作。	『復讐するは我にあり』 1979年 / 140分 / フィルム上映 監督: 今村昌平  実在の人物をモデルに、九州、浜松、東京を詐欺と殺人を重ねながら逃走する強烈な男の生涯に迫り大ヒット。
ピーター・バラカン(プロードキャスター)セレクト 🌀 ビーター・バラカン ⌚ 9.17📅18:30～  アメリカを旅する3人の若者の奇妙なロードムービー。独特のオフビートな感覚が世界に注目された監督第2作。	

第47回ぴあフィルムフェスティバル2025 タイムテーブル

国立映画アーカイブは11時開館です。開場時間は、上映時間の15分前です。
*プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合もございます。ご了承ください。
🔧 作品上映後にゲストトークの予定あり。最新情報は映画祭特設サイトにて。
📅 日ごとに上映開始時間が異なりますので、ご注意ください。

9.6 土	OZU	11:30～ PFFアワード2025 『BRAND NEW LOVE』 『僕はガタロウ』	15:00～ PFFアワード2025 『郷』 『宮沢さんは剥がさせないっ!』	18:00～ 追悼・篠田正浩監督 壮大な特撮で泉鏡花に挑む 『夜叉ヶ池 4Kデジタルリマスター版』 岩崎憲彦(『夜叉ヶ池』特撮スタッフ)、 尾上克郎(特撮監督)
	小ホール	12:00～ 私のヌーベルバーグ作品 『リアリズムの宿』	14:30～ 私のヌーベルバーグ作品 『真夜中の虹』 山下敦弘(映画監督)	17:15～ PFFアーカイブ「自由だぜ! 80年代PFF入選作品」 『リトル・ウィング』『どてらワルツ'81』 島田 元(映画監督)、高城千昭(映画監督)
7 日	OZU	11:30～ 私が憧れた女優たち ～梶芽衣子デビュー60年記念企画 『若者のすべて 4Kレストア完全版』『しとやかな獣』 梶 芽衣子(俳優・歌手)		18:00～ PFFアワード2025 『PEAK END』 『あの頃』
	小ホール	12:00～ PFFアーカイブ「自由だぜ! 80年代PFF入選作品」 『爆 BACK』 『大麻じゃなくても良いけれど』 森永憲彦(映画監督)、吉雄孝紀(映画監督)	16:00～ PFFアーカイブ「自由だぜ! 80年代PFF入選作品」 『吊首森太郎の青春』 『にっぽにーず・がー』 常本琢招(映画監督)	19:00～ 映画史的ヌーベルバーグの代表作 『女は女である』
8 月	休 館 日			
9 火	OZU ホール	11:30～ PFFアワード2025 『惑星イノウエ』『マイ スモール ワールド』 『ノイズの住人』	15:00～ PFFアワード2025 『名前をつけるのは、これから』 『カクレミノ』『CROSS-TALK』	18:30～ PFFアワード2025 『屈折の行方』『ロ-16号棟』 『人生はいつだってHARDだ』
10 水		11:30～ PFFアワード2025 『Caravan』 『黄色いシミ』	15:00～ PFFアワード2025 『空回りする直美』 『ワンダリング・メモリア』『紅の空』	18:30～ PFFアワード2025 『傷ついた天使』 『アンダー・マイ・スキン』
11 木		11:30～ PFFアワード2025 『PEAK END』 『あの頃』	15:00～ PFFアワード2025 『BRAND NEW LOVE』 『僕はガタロウ』	18:30～ ハーバード大学・自主映画アーカイブプログラム 『MOMENT』 手塚 真(映画監督)
12 金		11:30～ PFFアワード2025 『傷ついた天使』 『アンダー・マイ・スキン』	15:00～ 私が憧れた女優たち ～梶芽衣子デビュー60年記念企画 『カサブランカ』『流れる』 梶 芽衣子(俳優・歌手)	
13 土			11:30～ PFFアワード2025 『Caravan』 『黄色いシミ』	15:00～ 私のヌーベルバーグ作品 『人魚伝説』『爆裂都市 BURST CITY』 山中瑠子(映画監督)、吉田大八(映画監督)
	小ホール	12:00～ PFFアーカイブ「自由だぜ! 80年代PFF入選作品」 『いそげブライアン』 『肉体労働者が空を飛ぶ時、窓ぎわの コーちゃんに恐怖の暗躍団が迫る!!』 小松隆志(映画監督)	16:00～ ハーバード大学・自主映画アーカイブプログラム 『トワイライツ』『天地衰弱説 第二章』 『Improvisation』 TFOサイレント短編『man』『Ephemera』 アレックス・ツァールテン(ハーバード大学教授)	18:45～ 映画史的ヌーベルバーグの代表作 『大人は判ってくれない』 4Kデジタルリマスター版』
14 日	OZU	11:30～ PFFアワード2025 『名前をつけるのは、これから』 『カクレミノ』『CROSS-TALK』	15:00～ PFFアワード2025 『惑星イノウエ』『マイ スモール ワールド』 『ノイズの住人』	18:30～ PFFアワード2025 『空回りする直美』 『ワンダリング・メモリア』『紅の空』
	小ホール		13:00～ 映画史的ヌーベルバーグの代表作 『セリーヌとジュリーは舟でゆく』	17:30～ 私のヌーベルバーグ作品 『ラストブラックマン・イン・サンフランシスコ』 大島依提亜(グラフィックデザイナー)
15 月	休 館 日			
16 火	OZU ホール	11:30～ PFFアワード2025 『郷』 『宮沢さんは剥がさせないっ!』	14:30～ PFFアワード2025 『屈折の行方』『ロ-16号棟』 『人生はいつだってHARDだ』	18:00～ 第30回PFFプロデュース作品完成披露 『メイメイ』 蘇 鈺淳(映画監督)
17 水		11:30～ 私のヌーベルバーグ作品 『さらば、わが愛／霸王別姫 4K』『復讐するは我にあり』		18:30～ 私のヌーベルバーグ作品 『ストレンジャー・ザン・パラダイス』 ピーター・バラカン(ブロードキャスター)
18 木			13:00～ 映画史的ヌーベルバーグの代表作 『ろくでなし』 『青春残酷物語』『乾いた湖』	19:00～ 私のヌーベルバーグ作品 『陸軍』
19 金		11:30～ 映画史的ヌーベルバーグの代表作 『イタリア旅行』	13:45～ 映画史的ヌーベルバーグの代表作 『女と男のいる舗道』 4Kデジタル・リマスター版』	最終日9月20日(土)に受賞作を上映 →上映作品は9月19日(金)に公式サイトで発表します。
20 土		12:00～ PFFアワード2025 受賞作品上映 観客賞 含む受賞作品	16:00～ PFFアワード2025 受賞作品上映 グランプリ 含む受賞作品	

Ticket Guide

チケットぴあにて、8月6日📅午前0時より販売開始!

8月中に買えばお得!

●販売期限:各回上映開始時まで [Pコード:555-421]

【チケット料金表】 ※全席指定席	早割券(8月6日📅～31日📅まで)			9月券(9月1日📅～)		
	一般	高大生	小中生／障がい者 キャンパスメンバーズ	一般	高大生	小中生／障がい者 キャンパスメンバーズ
PFFアワード2025	800円	600円	600円	1,000円	700円	600円
[特集企画部門]	1,300円	600円	600円	1,500円	700円	600円

※国立映画アーカイブ公式チケットサイトの電子チケット販売はありません。

※学生、国立美術館のキャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は、ホール入場時に証明できるものをご提示ください。
ご提示のない方は入場できません。(障がい者の付添者は原則1名まで障がい者と同料金)

【購入方法】

チケットぴあ

① インターネットで購入 [座席選択:できる]

会場では発券できません。
セブン-イレブンがファミリーマートで発券の上、ご来場ください。

② セブン-イレブンで直接購入 [座席選択:できない]

店内のマルチコピー機よりご購入ください。

※チケットぴあでの発券手数料、システム手数料は0円です。※チケットの払戻、交換、再発行はできません。

当日会場窓口

③ 会場窓口(1F受付)で購入 [座席選択:できない]

販売時間:各回上映開始の60分前～5分前まで
*12時以前に上映開始の回のみ11時から販売

10代限定で「ぴあフィルムフェスティバル」にご招待します!
会場で多種多様な映画体験を! 事前申込制・お申し込みはこちら➡



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan
東京都中央区京橋3-7-6

会場アクセス ▶銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分▶浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分▶有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分▶JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

「京都ぴあフィルムフェスティバル 2025」開催決定!

11月13日📅～16日📅、京都文化博物館フィルムシアターにて開催。入選監督も多数来場予定!

[主 催]



一般社団法人PFF



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan



公益財団法人
川喜多記念映画文化財団



公益財団法人ユニジャパン

[オフィシャル
パートナー]



[特 別 支 援]



一般社団法人
日本映画製作者連盟

[オフィシャル
TOPサポーター]



三菱地所



U-NEXT

[オフィシャル
サポーター]



住友不動産



セブン&アイ HLDGS.

[特 別 協 賛]



朝日新聞



IXW
Imaging Works



IIJ
Internet Initiative Japan



Tokyofm
LIVE YOUR MUSIC SOLO



FM802
FUNKY STATION ON THE RADIO



KLOCK
WORKX



世界にひとつ、あなたにひとつ。



SEGA Sammy
文化芸術財団



大和証券
Daiwa Securities



TACHIHI



テレビ朝日



東京テアトル



TOKYO MX
50th ANNIVERSARY



TFC
東北新社



NIKKATSU



JAPAN AIRLINES



SMBC 三井住友カード



MUFG 三菱UFJニコス

[協 賛]



R-factory



きらぼし銀行



Congres



CONCENT



佐藤工業



SPACE SHOWER
ENTERTAINMENT PRODUCING INC.



TBS



DISK GARAGE



tv asahi



テレ東



KOGEI
東京工科大学 KOGEI UNIVERSITY



TOHAN



TOHO アーカイブ



TOPPAN



0TEL
NIPPON TV



MOALA
by environment



PONYCANYON INC.



MOVIE WALKER
PRESS



夜景検定
RECORDING



recr



Roadstead

[賛 助]

アテネ・フランセ文化事業(株)／(株)アンカット／(株)伊藤園／(株)運動会屋／エイペックス・ピクチャーズ(株)／KANDO(株)／ギャガ(株)／京都芸術大学 舞台芸術研究センター／キングレコード(株)／クエストルーム(株)／(有)スタンス・カンパニー／チケットぴあ九州(株)／チケットぴあ名古屋(株)／(株)夏への扉／(株)PIVOT／フェリック(株)／(有)フォルム／(有)プレス／(有)ヴォルテージ／(株)マジックアワー／(株)みずほ銀行／(株)MOON LIGHT／(株)ロボット

[後 援]

特定非営利活動法人 映像産業振興機構(VIPO)／ 協同組合 日本映画監督協会

Co FesTa パートナーイベント